

マルメ研修を終えて

なみき通り 歯科 安藤 壮吾

1週間という長丁場ではあったが、とても意義のある、そして自分自身が飛躍的に成長できたと感じた一週間だった。当院からはスタッフ2名を連れて参加した。

日吉歯科にてOPセミナーを受講してからはや2年。医院の改革に追われ、なかなか落ち着かなかった2年間だったが確実に変化を感じることでできた2年間だった。

そしてさらに先を見据えたときに、僕自身もそして彼女たちも、もう一つ殻を破りたいという気持ちでこの研修に参加しました。

スウェーデンという遠い北欧の地までわざわざカリオロジーを学びに行く意味。

昨今はインターネットで簡単に論文は手に入るし、日本にも素晴らしい技術や知識をもった先生はたくさんみえます。僕も日本で充分なのではと思っていた時期もありました。

しかし、著名な先生方と同じ空気を感じ、彼らのアイデンティティーやエビデンスに直に触れることで、自分の臨床の方向性の確認だったり、新しい視野の発見だったり、それは決してモニター越しでは得ることのできないとても素晴らしい時間だったとおもっています。そして異国の文化や気候に触れることは、人としての深みをあたえ、そしてそれは医療人として最高の経験になるのではないのでしょうか。

残念ながら我々日本人が作り上げてきた医療制度はとても歪んだ方向に進んでしまい、先進国でありながらどこの国も日本の医療システムを学ぼうとはしない。それはとても恥ずべきことだと感じました。

僕はまだまだ開業医としては若く、力もないかもしれませんが。ただ、日本に根付いた今のシステムや倫理観を覆すことは個人の力ではできません。しかし、一人一人が意識を改革し、正しい自分自身のフィロソフィーをもつことで小さな力がやがて大きな流れとなればと、そう思います。

まさに涓滴 岩を穿つ ように。

研修で経験し、感じたことを無駄にせず、自分自身のフィロソフィーを大切にしていきたいと思います。